

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】五島市](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
46	2011.03.31			長崎県	五島市	44,765	420.80
構想の要約		五島市は、「五島らしさ、現実可能な計画性」を重視したバイオマス利活用を推進する。取組方針として、まず着実に廃棄物系バイオマスの利用量向上を目指して、実現の可能性が高い事項から順に取り組み、次に未利用バイオマスの利用に向けた取り組みを実施し、枯渇する化石資源への依存の低減と、二酸化炭素の排出削減を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①堆肥利用拡大を目指した投入原料の多様化 ②廃食用油を利用したバイオディーゼル燃料製造及び利用拡大 ③林地残材等の有効利用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ	○	竹材	○		
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他(焼酎かす)					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料、おが粉)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2011.03.31	2011.03.31バイオマスタウン構想公表(JORA協力。BTアドバイザー研修地)

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

	貯存量		交換 処理方法	目標			
	貯存量 (t)	炭素換算 貯存量(t)		仕向量 (t)	炭素換算 貯存量(t)	利用率 (%)	利用方法
廃棄物系バイオマス							
生活系生ごみ	3,478	153.7	メタン発酵・堆肥化	1,739	76.9	50	堆肥・燃料
事業系生ごみ	1,492	65.9	堆肥化・飼料化・メタン発酵	1,492	65.9	100	堆肥・飼料・燃料
水産加工残さ	412	18.2	飼料化・メタン発酵	412	18.2	100	飼料・燃料
焼酎粕	100	1.2	飼料化・メタン発酵	100	1.2	100	飼料・燃料
搾搾油かす	50	18.1	おが粉・チップ・ペレット化	50	18.1	100	燃料
家畜排せつ物計	111,675	4,252.9		111,665	4,252.5	100	
(乳牛ふん尿)	1,100	48.6	堆肥化	1,100	48.6	100	堆肥
(肉牛ふん尿)	86,110	3,354.9	堆肥化	86,100	3,354.5	100	堆肥
(豚ふん尿)	23,895	788.4	堆肥化	23,895	788.4	100	堆肥
(採卵鶏ふん)	561	59.1	堆肥化	561	59.1	100	堆肥
(ブロイラーふん)	9	1.9	堆肥化	9	1.9	100	堆肥
し尿処理・浄化槽汚泥	5,538	319.0	メタン発酵	5,538	319.0	100	燃料
廃食用油	473	337.7	BDF化	236	168.5	50	BDF化
製材廃材	812	294.4	敷料・堆肥化	812	294.4	100	敷料・堆肥
せん定枝等	406	146.9	おが粉化	203	73.6	50	堆肥
建設発生木材	1,734	628.7	チップ・おが粉化	1,734	628.7	100	敷料・燃料
刈草	2,270	649.9	堆肥化	1,816	519.9	80	堆肥
廃棄物系バイオマス 計	128,440	6,886.6		125,788	6,436.9	93%	
未利用バイオマス							
稲わら	4,149	1,187.9	敷料・飼料・燃料	2,905	831.7	70	敷料・飼料
稲殻	767	219.6	堆肥化	767	219.6	100	堆肥
委わら	1,802	458.7	堆肥化	961	275.1	60	堆肥
野菜非食用部	700	30.9	堆肥化・メタン発酵	350	15.5	50	堆肥・燃料
林地残材	3,656	946.9	おが粉・チップ・ペレット化	1,462	378.7	40	堆肥・燃料等
竹(竹材生産可能量)	2,440	453.8	炭化・チップ・ペレット化	976	181.5	40	燃料等
未利用バイオマス 計	13,314	3,297.6		7,421	1,902.1	58%	

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

	バイオマスの種類	現在の利用方法	将来の利用方法(案)	
			<短期ビジョン>	<長期ビジョン>
廃棄物系 バイオマス	生活系生ごみ	焼却処理	堆肥	メタン発酵
	事業系生ごみ	焼却処理 堆肥	堆肥利用拡大	飼料・メタン発酵
	水産加工残さ	飼料 焼却処理	→	飼料・メタン発酵
	焼酎粕	農地還元	→	飼料・メタン発酵
	椿搾油かす	農地還元	→	燃料
	家畜排せつ物	堆肥 未利用	堆肥利用拡大	メタン発酵
	し尿処理・浄化槽汚泥	焼却処理	→	メタン発酵
	廃食用油	焼却処理 BDF	BDF利用拡大	→
	製材残材	敷料 堆肥	現状利活用の継続	
	せん定枝等	焼却処理	堆肥	→
	建設発生木材	敷料 燃料	現状利活用の継続	
	刈草	焼却処理	堆肥	→
未利用 バイオマス	稲わら	飼料・敷料 すきこみ	現状利活用の継続	
	籾殻	堆肥	現状利活用の継続	
	麦わら	堆肥	現状利活用の継続	
	野菜非食用部	農地還元 堆肥	堆肥利用拡大	飼料・メタン発酵
	林地残材	未利用	おが粉	チップ・ペレット
	竹(竹材生産可能量)	未利用	→	炭・ペレット等

図8 現在のバイオマス利活用方法と、将来の利活用方法(案)

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)